

# 職業観養い、ステップアップ!

# 湖南高校だより

湖南学信  
島湖等通  
福立高校  
発行責任者  
校長 吉田 浩美  
副校長 吉田 浩美

## 校内企業説明会

十一月十六日(木)にハローワークの協力で、五社を招いた校内企業説明会を開催しました。参加した一、二年生は、自分が希望した三社の説明に真剣に聞き入り、職業について理解を深めていました。



校内企業説明会の様子

## インターンシップ

十一月七日(火)から三日間にわたって、二年生全員がジュニアインターンシップに参加しました。参加した二年生の声をいくつか紹介します。



ジュニアインターンシップに参加した二年生

きただけど、職場体験をして、簡単には保育園の先生になれないんだと思いました。(女子)

自分は小さい子どもが好

患者さんに対する言葉遣いは優しく、丁寧にするべきだということがわかりました。自分ができないことを見つけてくるのできたインターンシップになり、良かったです。(女子)  
働くことは楽しいことばかりではないが、お客様が笑顔で帰っていかれるのを見てとても幸せな気分になった。しかし、笑顔になつていただくには、自分の売る商品を良く知ったり、言葉遣いやマナーに気をつけなければならぬということも同時に知った。(男子)

熊谷↓渡邊↓黒須↓尾張↓伊藤詠↓石村↓五十嵐↓木村↓小川教頭↓春山↓佐藤ふ↓高橋↓吉原↓?



誠実 校訓  
志高 勤勉  
自律 聡明  
協同

### 宣誓

私たちは十六年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。今、東日本大震災で、多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱいです。被災地では、全ての方々が一丸となり、仲間とともに頑張っておられます。人は仲間を支えられることで、大きな困難を乗り越えることができます。私たちに、今、できること。それはこの大会を精一杯元氣を出して戦うことです。「がんばろう!日本」生かされている命に感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。平成二十三年三月二十三日 創志学園 主将 野山慎介

これなんだかわかりますか。そう、震災のあった年の春の甲子園の選手宣誓の全文です。今の三年生が平成十一年度生まれなので、六歳の時です。時を経て今は同じ高校生となりまし

た。読んでみて、とてもさわやかで、かつ、謙虚な宣誓だと思いませんか。「人は仲間を支えられることで、大きな困難を乗り越えることができる」から始まり、今できること「それはあんまり人から「がんばれ」なんて言われるとがんばっている人には「もうこれ以上何をがんばるの」、がんばれない人には「もういいかげんにして」って思われます。だから「がんばろう」は他人に伝える言葉ではなくて、自分を奮い立たせる言葉にして、自分自身に「がんばろう」、「がんばろう」と。

最後にもう一言。「学力がある」と「頭が切れる」は違います。たとえ頭が切れなくても、日々の「誠実さ」と「努力」の積み重ねが生きていくための「力」となり得ます。その「力」が、将来を左右します。そして、誠実に努力する「姿勢・心」があれば必ず報われるときがきます。あとは自分次第。調子こいた者をさげすむほどのこの社会は甘くはない。「誠実さ」と「努力」が人生という「花」を咲かせ、「実」を結ぶ。(吉原 武志・よしはらたけし・遊び人・レベル三〇)

↑ 湖南からご覧  
「湖」がで  
ページ「り」が  
ホームページ  
学校ホームページ  
のメニュー  
の高見ます  
もまください